

# 標準仕様

## セパレート型 (50/60Hz)

タイプ 対象人数	シングルタイプ					
	2人用		3人用		4人用	
型式	SRS-AP45ST2		SRS-AP63ST2		SRS-AP80ST2	
	SR-AP45ST1 (室内ユニット)	SR-AP45CT2 (室外ユニット)	SR-AP63ST1 (室内ユニット)	SR-AP63CT2 (室外ユニット)	SR-AP80ST1 (室内ユニット)	SR-AP80CT2 (室外ユニット)
冷房能力 kW	4.5		6.3		8.0	
外形寸法(高さ×幅×奥行)mm	350×650×800		350×650×800		350×650×800	
質量 kg	36		36		37	
電気特性	消費電力 kW		1.17		1.95	
	E E R kW/kWh		3.84		3.23	
	運転電流 A		3.5		5.8	
	力率 %		96		97	
電源	単相200V		三相200V		単相200V	
圧縮機	型式		スクロール		スクロール	
送風機	電動機出力 kW		0.85		1.10	
	風量 m <sup>3</sup> /min		11		15	
	機外静圧 Pa		108/88		127/200	
冷媒・封入量	電動機出力 kW		0.150×1		0.040×1	
	液側 mm		φ6.35(フレア接続)		φ6.35(フレア接続)	
保護装置	ガス側 mm		φ12.7(フレア接続)		φ12.7(フレア接続)	
	操作回路用ヒューズ・ インターナルサーモスタット・ ドレンオーバーフロー 防止用スイッチ		高圧遮断装置・ 電流検出用変流器・ 操作回路用ヒューズ・ 動力用ヒューズ・ 吐出ガス過熱 防止用サーミスター		操作回路用ヒューズ・ インターナルサーモスタット・ ドレンオーバーフロー 防止用スイッチ	
IPコード	IPX0		IPX4		IPX0	
運転範囲 °CDB	22~45		-5~43		22~45	

タイプ 対象人数	シングルタイプ				同時ツインタイプ	
	6人用		12人用		12人用	
型式	SRS-AP140ST2		SRS-AP280ST2		SRS-AP280STW3	
	SR-AP140ST1 (室内ユニット)	SR-AP140CT2 (室外ユニット)	SR-AP280ST1 (室内ユニット)	SR-AP280CT2 (室外ユニット)	SR-AP140ST1×2 (室内ユニット)	SR-AP280CT2 (室外ユニット)
冷房能力 kW	14.0		28.0		28.0	
外形寸法(高さ×幅×奥行)mm	350×1,300×800		500×1,100×970		(350×1,300×800)×2	
質量 kg	58		102		58×2	
電気特性	消費電力 kW		5.67		11.2	
	E E R kW/kWh		2.47		2.50	
	運転電流 A		18.8		36.1	
	力率 %		87		90	
電源	単相200V		三相200V		単相200V	
圧縮機	型式		スクロール		スクロール	
送風機	電動機出力 kW		3.00		5.80	
	風量 m <sup>3</sup> /min		37		75	
	機外静圧 Pa		155/210		50/170	
冷媒・封入量	電動機出力 kW		0.290×1		0.170×2	
	液側 mm		φ9.52(フレア接続)		φ9.52(フレア接続)※	
保護装置	ガス側 mm		φ15.88(フレア接続)		φ25.4(ロー付け接続)	
	操作回路用ヒューズ・ インターナルサーモスタット・ ドレンオーバーフロー 防止用スイッチ		高圧遮断装置・ 電流検出用変流器・ 操作回路用ヒューズ・ 動力用ヒューズ・ 吐出ガス過熱 防止用サーミスター		操作回路用ヒューズ・ インターナルサーモスタット・ ドレンオーバーフロー 防止用スイッチ	
IPコード	IPX0		IPX4		IPX0	
運転範囲 °CDB	22~45		-5~43		22~45	

※配管長が30m以上の場合は、液配管をφ12.7にサイズアップしてください。

注1)冷房能力および電気特性は吸込空気35°CDB/28.5°CWB時の値です。(JRA4040:2018 スポットエアコンに基づく)

注2)セパレート型の設置条件は次の通りです。冷媒配管長45型:5.0m 63~280型:7.5m、高低差0m。室内ユニットは表示風量、機外静圧に調整。

注3)電源ケーブルが長いまたは細い場合などは、電源電圧が低下して圧縮機がスムーズに運転開始しないばかりでなく保護装置が作動したり故障の原因になることがあります。

注4)クラックケースヒーター付機種(SR-NP160CSLT1・AP45CT2・AP63CT2・AP80CT2・AP140CT2・AP280CT2)は運転を始める12時間以上前に電源を入れてください。

これは、スムーズに始動させるために圧縮機を予熱させるためです。

電源を入れてすぐに運転開始すると圧縮機がスムーズに運転開始しないばかりでなく保護装置が作動したり故障の原因になることがあります。

注5)製品には下記GWP値(地球温暖化係数)のフロン類が封入されています。

\*セパレート型室内ユニットを除く。

使用するフロン類などの種類	GWP値
R407C	1770
R410A	2090